# 秋田大学
# 北秋田分校
## 活 動 報 告

平成26年度

# 目次

**巻頭言**　秋田大学北秋田分校長　濱田　純　‥‥１

**平成２６年度活動実績**　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥４

**アンケート**　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１４

**分校活動状況一覧**　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２４

**分校に関する新聞記事**　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２６

# 巻頭言

秋田大学北秋田分校長　濱田　純

## 基本方針

県北の活動拠点として、大学力を地域へ

## 運営方針

地域のニーズに応じて大学の資源を提供し、地域の人々に活力を与えるとともに、学生のキャリア形成を図ります。

秋田大学北秋田分校は、北秋田地域が抱えているニーズを汲み取り、その解決に向け、秋田大学の様々なシーズを活用していくための活動拠点となります。

秋田大学と北秋田市がそれぞれの資源を活かし、連携を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、市民の方々にも積極的に参画していただきながら、北秋田市の活性化に向けた運営を目指しています。

平成 25 年度からは秋田大学 COC 事業「鉱山文化がもたらした阿仁文化の現代への活用」を軸に、幅広い地域活動を展開しています。

※COC(Center of Community)　地(知)の拠点整備事業
平成 25 年度の文部科学省の新規重点補助事業で、自治体等と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援する。秋田大学は、全国 56 校の一つとして選定されている。

## 取り組み

継続事業も含め、これまでの取り組み(○)と、平成27年度の主な取り組み(◎)をまとめました。

**１．秋田内陸線活性化事業**

○秋田内陸線を利用する秋田北鷹高校通学生を支援し、生徒会、ＰＴＡと協力して、テスト期間限定のスタディ･トレインを実現。(23年度**～継続**)

○秋田内陸線調査、「秋田内陸線を活用した観光プランの提案」(志立研究室)、「100㎞マラソン・エイドステーション調査」(篠原研究室)、秋田内陸線田んぼアートなどに多くの学生が参加・参画。(23年度**～継続**)

○市民団体と一緒に「買って活かそう秋田内陸線キャラバン」を結成し、売上金を秋田内陸線に全額寄付。(24年度)

○秋田内陸線支援団体情報交換会でコーディネーターを務め(25年度**～継続**)、沿線9支援団体による連合会を結成し(26年度)、秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会顧問として活動。(**継続**)

◎27年度は内陸線支援団体連合会と地域が連携し、地域課題の解決に向けた具体的な活動である秋田内陸線夢列車プロジェクト(新車両購入1億5千万円募金活動)を展開する。

**２．地域の活性化と学生のキャリア形成**

○秋田北鷹高校しょうゆバター餅の開発を教育文化学部長沼誠子研究室が支援。(23年度)

○「ふるさとの未来・再考！フォーラム」(北秋田市教育委員会主催、秋田大学北秋田分校共催)で、地元の小中学生、秋田北鷹高校生徒会、秋田大学生が発表。(23年度**～継続**)

○「阿仁の花火大会と灯籠流し」アトラクションで、地元小中学生と秋田大学よさこいサークルとの合同演舞を実現。地域の伝統文化である「獅子踊り」、「からめ節」が復活。(24年度**～継続**)

○「スノーキャンドルストリートinあに」に秋田大学生12名が参加し、北秋田市役所阿仁庁舎壁面と国旗掲揚ポールに、名所「森吉山」と「安の滝」を4千個のイルミネーションで演出。(24年度)

また、阿仁異人館を1万個のイルミネーションで演出(25年度)。さらに26年度はイルミネーションで演出した異人館をステージにソプラノ歌手桜庭優佳さんのミニライブを演出。(**継続**)

○鷹巣中学校体育館での「おもしろ理科実験教室」、大館市立有浦小学校体育館での「ワクワク子ども科学教室」を開催。(23年度**～継続**)

○北秋田地域振興局協力事業「田んぼアート」に、24年度の立ち上げから参画。(24年度**～継続**)

○地域資源である鉱山文化史料を国際資源学部今井教授らが調査発掘し、阿仁伝承館で企画展実施(3回)。結果、入館者数は期間昨年比71.8%増。(26年度**～継続**)

○「森吉山ダム水源地域ビジョン」事業に参画。四季美湖まつりで学生がオープニングパフォ

ーマンスを務め、アカペラを披露したり、カヌー等に参加。（26 年度**～継続**）

○釈迦内サンフラワープロジェクト事業に参加。（26 年度）

◎27 年度は継続事業の他、農業生産法人森のテラスと協働で、秋田大学北秋田分校特産米として、完全無農薬・無化学肥料・天日干し米「ほたるひめ」の完成を目指す。

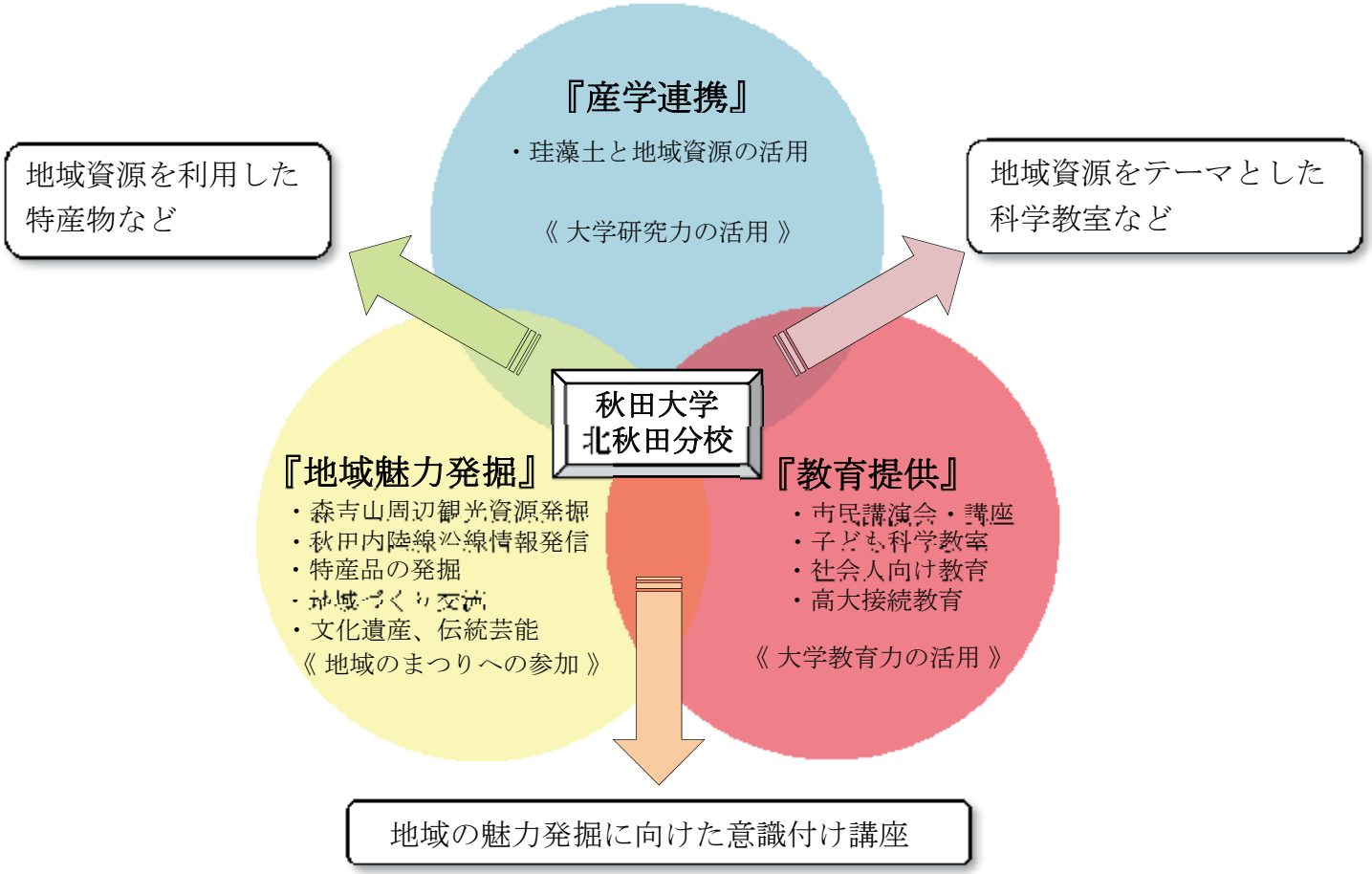
**３．地域住民との交流**

○地域住民が地域のよさを再認識し、地域に誇りを持って生きるという観点から胡桃館遺跡と十和田噴火の学術的講話、幸せの国ブータン王国や方言などの教養講座を実施。（24 年度）

○秋田北鷹高校にてメディカル・サイエンスカフェ・ネクストを 24 年度に引き続き開催、市民や学生約 200 人が参加。（25 年度）

○「森のテラス」及び地域住民との協働米作り交流として、休耕田の田起こしから収穫まで延べ 15 日間、260 人の学生が参加した。結果、完全無農薬・無化学肥料・天日干し米「ほたるひめ」を開発し、試供品として関係者にアンケートを実施。（26 年度**～継続**）

以上、今後も地域のニーズに応じ、北秋田分校を通じて秋田大学ならではの力を一層浸透させ、地域が一層活性化するよう、住民・市民団体と一緒に活動します。



# 平成２６年度活動実績

## 教育資源の提供

今年度は市民のニーズに応えた公開講座を地域で開講し、多くの市民が気軽に参加できるイベントなど分校活動に関心を持ってもらえるような活動を展開した。

今後も児童・生徒向けの理科教室の開催を継続し、北秋田市の特産品開発などに取り組み、また市民向けの公開講座も開催するなど、ニーズに応えた教育資源の提供を展開していく。

### ■ワクワク子ども科学教室

共　　催　秋田大学北秋田分校
　　大館北秋田理科教育研究会
実 施 日　平成２６年９月２１日（日）
会　　場　大館市立有浦小学校体育館
講　　師　秋田大学大学院工学資源学研究科　准教授　加藤　純雄
　　講師　小笠原　正剛
　　特別講師　野村　正幸
　　特別講師　佐藤　寛次
　　特別講師　佐藤　和博
参加学生　秋田大学生２４名

今年で４回目となるこの教室は、小中学生を対象に身近なものを利用して科学実験を行い、科学への興味関心を深めてもらうことを狙いとして開催している。

実験には秋田大学の教員２名、特別講師３名のほか、学生２４名が参加し、「花火の色をつくろう」、「スライムで遊ぼう」など、１５のコーナーが用意された。なかでも、「大きなシャボン玉をつくろう」のコーナーは、シャボン玉の中から外の世界をのぞく体験ができることから、子どもたちの人気を集めていた。一緒に各コーナーを見てまわっていた保護者も、子どもが科学に興味を持っている姿をみて、学びを深めるきっかけになると喜んでいた。

**■おもしろ理科実験教室**

共　　催　秋田大学北秋田分校
　　北秋田市教育委員会
実 施 日　平成２６年１０月２５日（土）
会　　場　北秋田市立鷹巣中学校体育館
講　　師　秋田大学大学院工学資源学研究科　准教授　加藤　純雄
　　講師　小笠原　正剛
　　特別講師　野村　正幸
　　特別講師　佐藤　寛次
　　特別講師　佐藤　和博
　　特別講師　井原　博之
参加学生　秋田大学生２２名

この実験教室は、体験することで科学の楽しさを知り関心を深めてもらおうと、秋田大学北秋田分校と、北秋田市教育委員会との共催で開催した。

会場には多くの親子が訪れ、秋田大学の学生が先生となって行う実験に熱心に見入っていた。北秋田市でも豊富な地域資源とされている珪藻土を扱った実験も行われ、その構造や性質の不思議さに子どもたちからだけではなく、一緒に見ていた保護者からも質問がでるなど、親子で実験を楽しむ様子が見られた。

ドライアイスの性質を学びながらアイスクリームを作る実験も行われ、このコーナーでは、ドライアイスと牛乳、砂糖を混ぜ、自分で作ったアイスクリームを嬉しそうにほおばっていた。

子どもたちのアンケートの中には、「楽しかった」、「またやりたい」などの声が多数あり、今回の実験教室で科学の楽しさや不思議を体感したようだ。

## 地域資源の発掘

北秋田市にある地域資源を活用し、地域の活性化に向けた取り組みとして、これまで秋田内陸縦貫鉄道の活性化などをテーマに活動してきた。

今後もさまざまな角度から秋田内陸線や阿仁地域の活性化について、積極的にアプローチしていく。

## ■ふるさとの風景に学ぶ―米づくりで紡ぐ心と自然―

共同事業　秋田大学北秋田分校
　　農業生産法人(有)森のテラス
実 施 日　平成２６年４月～１１月（通年事業）
会　　場　秋田森のテラス（北秋田市森吉地区）
参加教員　秋田大学北秋田分校長　濱田純

この事業は、自然の土壌に生きる微生物の力を最大限活用した環境保全型農業を、里山の自然がそのまま保存されている『秋田森のテラス』の土地を活動拠点として実践するものである。具体的には、かつて棚田として耕作していた場所を使用し、棚田の復元から実際に作付けし収穫するまでの作業工程を一貫して行い、その課題を見いだしいかに克服するかを調査研究していこうという取り組みである。

加えて、里山ならではの生態系に触れ地域の人々が里山に支えられ生きていることを感じ取ることや、現在の農業が抱える耕作放棄地の課題についても学びとろうと、通年で活動する事業に位置付けた。

来年度は、秋田大学生が作った特産米としてブランド化し、販売を目指す。

【今年度の活動】※（）内は参加学生数

平成２６年

４月２６日（土）
　～２７日（日）　開墾１回目（２２名）
５月１７日（土）
　～１８日（日）　開墾２回目（２４名）
５月２４日（土）
　～２５日（日）　開墾３回目（３８名）
６月　１日（日）　田植え（１６名）
６月２１日（土）　草取り（１８名）
７月　５日（土）
　～　６日（日）　草取り・ホタル観賞会（６４名）
８月１７日（日）　草取り（３３名）
９月２７日（土）
　～２８日（日）　はさ作り・稲刈り・はさ掛け（１４名）
１０月１１日（土）　脱穀・収穫祭（１３名）
１１月　２日（日）　田と水路修繕・腐葉土づくり（１８名）

**■秋田内陸線　田んぼアートの田植えへの参加**

主　　催　秋田県北秋田地域振興局
協　　力　秋田大学北秋田分校
実 施 日　平成２６年５月３１日（土）
会　　場　北秋田市阿仁小渕地区内
参加学生　１６名

秋田内陸線の車窓からアートを楽しんでもらおうと、北秋田市阿仁平里地区、小渕地区において田んぼアートの田植えが行われた。この日は地域の方々や地元小学生など、総勢約３００名がボランティアとして参加し、真夏並みの天気の中で汗を流しながら、にぎやかな作業となった。

今年の田んぼアートのテーマは「日本昔話」。平里地区では「笠地蔵」、秋田大学の学生が参加した小渕地区では、「かぐや姫」を描くということで、赤、黄、白、紫など、普段目にすることのない色とりどりの品種の苗が植えられた。苗の段階では色の見分けがつかないため、自分がアートのどの部分を担当しているのか確認しあいながら作業は進められた。

田植え終了後には、減速走行した内陸線をバックに記念写真を撮影し、自分たちで作り上げたアートが稲穂の一色に染まる初秋までずっと乗客の目を楽しませることを期待しながら田んぼを後にする姿が印象的であった。

## ■釈迦内サンフラワープロジェクト

主　　催　釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会
協　　力　秋田大学北秋田分校
実 施 日　平成２６年６月～１１月（通年事業）
会　　場　大館市釈迦内地区ほか

このプロジェクトでは釈迦内小学校を核に、地域の様々な団体や農家、住民などが一体となってひまわり栽培に取り組み、収益を地域に還元しようと、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会が主体となり活動しているもので、地域に新たな活力をもたらし、地域振興のみならず観光振興にも寄与することを目的としている。

また、釈迦内小学校は実行委員の一員であるとともに事務局機能も果たしている。

その取り組みに秋田大学生が加わることで、 学生自らの「地域に目を向け地域で活躍しようとする意識」を育もうと、今年度新たに取り組んだ協力事業であり、ひまわりの種まきから収穫、搾油したひまわり油の販売まで一連の作業に携わることで、地元の人々との交流が生まれ、地域に元気と活力をもたらした。

【今年度の活動】※（）内は参加学生数

平成２６年

６月　７日（土）　種まき（１０名）
８月２４日（日）　収穫（１３名）
１０月１２日（日）　ひまわり油等の販売（１３名）
１１月　１日（土）　活動発表＆収穫感謝祭（１８名）

## ■森吉四季美湖まつり

主　　催　森吉山ダム水源地域ビジョン実行委員会
実 施 日　平成２６年６月２２日（日）

会　　場　森吉山ダム周辺（北秋田市根森田）
参加教員　秋田大学北秋田分校長　濱田純
参加学生　１８名

森吉山ダム周辺を会場に行われた「森吉四季美湖まつり」へ秋田大学生１８名が参加した。アカペラサークルグループｉｘｉ．（イクシィ）のステージパフォーマンスに、津谷北秋田市長からも拍手とともに賞賛の声が上がった。また、地域の方々から「若い学生の皆さんが（まつりに）参加して盛り上げてくれることが何よりのお手伝い！」との温かいお言葉をいただき、カヌーマラソンやダムの堤体登りなどにも挑戦した。広報館では、本学の３分校への理解を深めてもらうために、各分校の活動を紹介するコーナーも設置した。参加した学生達は、梅雨の晴れ間の休日を地域の皆さんと一緒に満喫した。

**■第５２回「阿仁の花火大会と灯籠流し」記念アトラクション**

主　　催　阿仁の花火実行委員会
実 施 日　平成２６年８月１６日（土）
会　　場　北秋田市阿仁総合窓口センター前・北秋田市阿仁河川公園
参加教員　秋田大学北秋田分校長　濱田純
参加学生　２３名

「阿仁の花火大会と灯籠流し」記念アトラクションに、地元の小中学生によるよさこいやダンス披露とともに、秋田大学のよさこいサークル「よさとせ歌舞輝」が出演し、まつりを盛り上げた。

今年で３回目の出演となったサークルの学生は、テーマを「風」と題し、昨年も披露した「神剛」、２０１４年の

新曲「疾走」、そして最後はわかりやすい振り付けを「右、左、一回転」などと観客へ声をかけながら踊り、会場全体を巻き込んだ演舞となった。

アトラクションの最後には、出演した小中学生とともに「よっちょれ」を披露し、大人数での迫力ある演舞に会場では手拍子もおこり、出演者と観客とで一体感にあふれ、イベントをいっそう盛り上げた。

**■スノーキャンドルストリート in あに**

主　　催　スノーキャンドルストリート実行委員会
　　阿仁合駅前周辺活性化実行委員会
後　　援　秋田大学北秋田分校
実 施 日　平成２７年２月２１日（土）～２２日（日）
会　　場　北秋田市阿仁水無銀山地区
出 席 者　秋田大学北秋田分校長　濱田純
参加学生　２０名

２月２１日(土)北秋田市の秋田内陸線阿仁合駅周辺で「第１０回スノーキャンドルストリート in あに」が開催され、秋田大学の学生２０名が参加した。

このイベントは、「冬のまちににぎわいを創出しよう」をテーマに、地域住民らでつくる実行委員会と阿仁合駅周辺活性化実行委員会が主催し、秋田大学北秋田分校などが協力している。

まず初めに学生は、阿仁異人館の北側テラス一面に約１万個の LED イルミネーション電球を使って飾り付けを行い、地元の森吉山と安の滝を表現した。

続いて、雪像で秋田内陸縦貫鉄道の応援キャラクター「ないりっくん」を表現し、実行委員会の皆さんからも絶賛されるほどの完成度となり、チームワークの良さを見せた。集まったちびっ子達は、雪像の前で記念写真を撮るなど大好評だった。

その後、地元の商店でスノーキャンドル作りの手伝いをしたり、フードコートで郷土料理を食べたりしながら、地元の方とも積極的に交流を深めていた。

また今年は、初の試みとして、異人館前でミニライブを行った。今回作業に参加してくれたルーマニア出身留学生のコンスタンティン・ガブリエラ・アリナさんが、飛び入りで日本の歌謡曲や懐メロを歌いあげると、集まった観客からは大きな拍手が送られた。引き続き、本学の卒業生である聖園短期大学助教の桜庭優佳さんが、昨年一躍ブームとなった「アナと雪の女王」の主題歌『Let it go』など３曲を、ステージ用に装飾したイルミネーションを背景に熱唱した。

ライブ終了後は冬花火の打ち上げもあり、今年のテーマである「阿仁の町が艶やかに～光と音の融合～」を実感できた、幻想的な一夜になった。

## 首都圏大学教育実習誘致事業の実施

**■共栄大学教育学部　教育実習**

実 施 日　平成２６年９月１日(火)～２８日(月)
会　　場　北秋田市立阿仁合小学校
参加学生　共栄大学教育学部３年生２名

この事業は、北秋田分校と北秋田市教育委員会の連携により、学力・学習状況調査で全国トップの本県教育のノウハウを広めるとともに、交流人口の増加を狙いとするものである。

共栄大学実習生の一人は「将来は秋田で小学校教諭をしたい」との希望を語り、人口減少が進む北秋田市からも、こうした機会を通じて交流人口の増加を期待する声が上がった。

同大学では来年度も引き続き、学生７名が北秋田市内の小学校で教育実習を実施する予定としている。

## 実習型授業の実施

**■教育心理学　実習型授業**

実 施 日　平成２６年９月１８日(木)～１９日(金)
会　　場　北秋田市立阿仁合小学校
担当教員　秋田大学教育文化学部心理学研究室
　　教授　　髙田　知惠子
　　教授　　森　和彦
　　准教授　中野　良樹
　　准教授　清水　貴裕
　　参加学生　３０名

この授業は、秋田大学教育文化学部心理学研究室の学生(1～3 年生)が小学校に出向き、児童についての心理教育的理解を深めるため実施した実習型授業である。大学教員指導の下、学生が性格検査や学習適応検査等の諸検査を実施するとともに、授業、休み時間のあそび、給食等を通して児童と直接触れ合うなどの参与観察を行った。

検査データと観察記録をつきあわせて、児童の学校生活について総合的な観点から生き生きした所見を作成して学校にお返しし、児童の指導や学級経営の資料として活用していただけるよう努めた。

## 講演などの実施

**■北秋田市立阿仁合小学校講演**

実 施 日　平成２６年７月１０日(木)
会　　場　北秋田市立阿仁合小学校
講　　師　秋田大学北秋田分校長　濱田　純

この講演会は、阿仁合小学校 1 学期末 PTA の一環として開催し、保護者や地域住民 30 人余りが参加した。濱田分校長は、「あなたもなりたいものになれる」と題して、人気アニメ・ワンピースなど、児童の興味をひく題材を織り交ぜながら講演を行った。

保護者には「勉強も大事だが、遊びも大切。自律性、社会性、情緒は集団遊びの中で育つ。学校、家庭、地域のトライアングルの中心に子供がいれば安心して育つ」と説明した。

## ■秋田内陸線スタディトレイン
## ～教員免許状更新講習講座開講～

実 施 日　平成２６年１１月１５日(土)
講習時間　９：００～１７：００
会　　場　秋田内陸線列車内
講　　師　秋田大学北秋田分校長　濱田　純

秋田内陸線の列車を利用した教員免許状更新講習講座が県内各地の教員２９名が参加し行われ、濱田分校長が講師を務め、地域にとけ込んだ文化を題材とした教材開発講義を行った。

濱田分校長は、「秋田内陸線は地域そのもので、そこを走る列車での講習は地域を体感しながらの講習で最適である。」等と説明。参加者は阿仁合駅で下車し、フィールドワークや食文化に触れ、帰りの列車内では試験に臨んだ。

## ■秋田内陸線支援事業

顧　　問　秋田大学北秋田分校長　濱田　純

秋田内陸線支援事業の一環として、秋田内陸線沿線支援団体連合会は、『秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会』を設立し、濱田分校長が顧問に就任した。

このプロジェクトは、秋田の内陸部を南北に貫く全長９４．２ｋｍの第三セクター鉄道が存続の危機により再生の方法を模索してはじめた事業である。

１億５千万円の寄付を集めて、秋田内陸線に新型車両を寄付することが目的であるが、新しい車両のコンセプトやデザインなどを、多くの人たちが語り合うことによって、それぞれが内陸線を自分のものとして認識し地域の未来のビジョンを描くことを、もう一つの目的とする。

【今年度の活動】

平成２６年

１２月　９日（火）内陸線の存続への理解と支援を要請する文書を県議会議長に提出

平成２７年

２月２２日（日）秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会発足

３月２９日（日）阿仁合車両基地の列車内にて「夢列車創造会議」を開催

# アンケート

## 「ワクワク子ども科学教室」
## アンケート集計結果

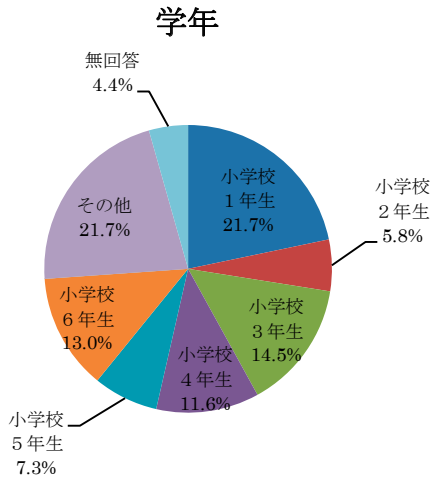
| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|
| 69 | 69 | 100% |

| 開催日時 |
|---|
| 平成２６年９月２１日(日)１０：３０～１２：１０ |

１．学年・性別

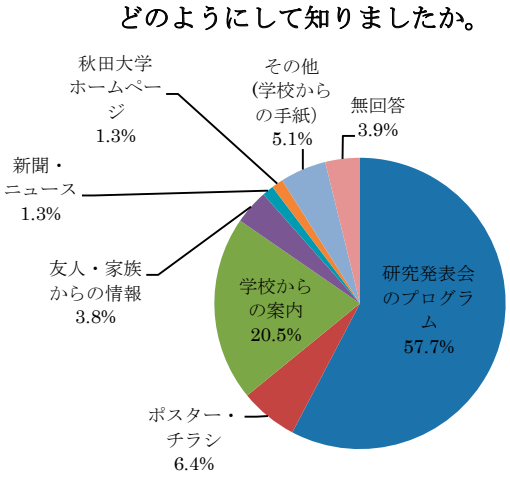
| | 小学校 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | １年生 | ２年生 | ３年生 | ４年生 | ５年生 | ６年生 |
| 男 | 9 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 |
| 女 | 5 | 2 | 7 | 3 | 2 | 6 |
| 無回答 | 1 | | | 1 | 1 | |
| 合計 | 15 名 | 4 名 | 10 名 | 8 名 | 5 名 | 9 名 |
| 構成比 | 21.7% | 5.8% | 14.5% | 11.6% | 7.3% | 13.0% |

| | 中学校 | | | その他 | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | １年生 | ２年生 | ３年生 | | | |
| 男 | | | | 6 | | 12 |
| 女 | | | | 7 | | 18 |
| 無回答 | | | | 2 | 3 | 2 |
| 合計 | 0 名 | 0 名 | 0 名 | 15 名 | 3 名 | 69 名 |
| 構成比 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 21.7% | 4.4% | 100.0% |




２．「ワクワク子ども科学教室」をどのようにして知りましたか。（複数回答）

| | 合計 | 構成比 |
|---|---|---|
| 研究発表会のプログラム | 45 名 | 57.7% |
| ポスター・チラシ | 5 名 | 6.4% |
| 学校からの案内 | 16 名 | 20.5% |
| 友人・家族からの情報 | 3 名 | 3.8% |
| 新聞・ニュース | 1 名 | 1.3% |
| 秋田大学ホームページ | 1 名 | 1.3% |
| その他(学校からの手紙) | 4 名 | 5.1% |
| 無回答 | 3 名 | 3.9% |
| 合計 | 78 名 | 100.0% |




３．一番ワクワクした実験は何でしたか？（※原文のとおり）

| |
|---|
| ダンゴムシ |
| ・けいそう土に水を加えていくと、かたまる。<br>・スライム作り、[作り方の基本] |
| まほうのアイス |
| まほうのアイス |
| ・スライム・まほうのアイス |
| 液体ちっ素での実験 |
| ハッポウスチロールのハンコ |

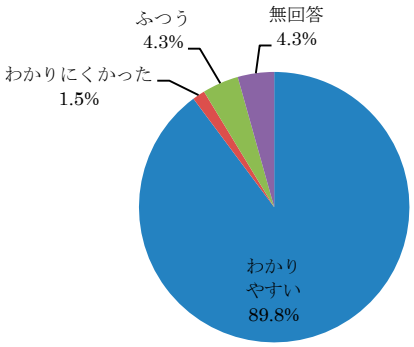
| |
|---|
| みんなステキでしたが、全身をくるむシャボン玉が 1 番フワフワしました。<br>液体チッソもスライムも、けいそうども夢中でやりました。 |
| スライムを作る。においの科学。 |
| スライム作り |
| スライム? |
| スライム作り |
| 二酸化炭素を調べる実験 |
| スライム作り |
| スライム |
| スライム |
| スライム作り |
| スライム、こう水、地しん、けいそう土 |
| スライム、スタンプ、しゃぼん玉 |
| スライム作り |
| しゃぼんだまつくり |
| アイスクリーム作り |
| ①スライム②しゃぼん玉(中に入る)③えきたいチッソ |
| 液体窒素でバナナを凍らせたこと。 |
| スライム作り |
| スライム、だんごむし |
| ・液体窒素の実験・花火の色 |
| スチールウール |
| スタンプ作り、えきたいちっそ |
| スタンプ |
| 匂い |
| 二酸化炭素の実験 |
| スライムづくり |
| スライムづくり |
| スライムづくり |
| 花火の色～etc.全部です。 |
| スライム作り |
| えきたいちっそ |
| 土の実けん |
| スライム作り |
| 二酸化炭素 |
| スライム |
| 液体窒素の実験 |
| スライム作り |
| 花火の色を作ろう |
| 花火の色を学ぼう 色々楽しく一番がつけれないですが |
| スライム |
| 液体窒素{バラのパリパリ、バナナのかたち}すごかった。 |
| スチールウールをもやすのと花火の色の元になる |
| 花火がおもろかった |

| |
|---|
| えきたいちっそ |
| においの科学 |
| ドライアイスを食べるの |
| ドライアイスでつくったアイス |
| すらいむ |
| シャボン玉 |
| すらいむ |
| すらいむ♡☆ |
| すらいむ |
| すらいむ |
| スライム |
| スライム、ラメスライムです。 |
| ダンゴムシのひみつ |
| 花火の実験 |
| アイス作り |
| ケイそうど |
| スライム |

４．先生の説明はわかりやすかったですか?

| | 回答数 | 構成比 |
|---|---|---|
| わかりやすい | 62 名 | 89.9% |
| わかりにくかった | 1 名 | 1.5% |
| ふつう | 3 名 | 4.3% |
| 無回答 | 3 名 | 4.3% |
| 合計 | 69 名 | 100.0% |

先生の説明はわかりやすかったですか？




５．その他の感想を書いてください。（※原文のとおり）

| |
|---|
| ・けいそう土は、壁の素材にしていることは知っていたが、ビールのろ過にも使っていることを知って面白かった |
| また体験したい |
| また体験したい! |
| また来て体験してみたい! |
| 勉強をたくさんしていろいろな実験をしてみたいです。 |
| とても楽しかった。 |
| 実験をとおして、科学っておもしろいな…と思うようになっていき、理科が好きになったようです。毎年科学教室をしていただき、ありがとうございます。この教室を楽しみに夏休みの理科研究に取り組んでいます。 |
| とても楽しかったです。<br>でも、不思議に思うことがたくさんありました。 |
| とても楽しい |
| はじめはどろどろしていたけど、どんどんかたまってきて、科学の力はすごいと思った。 |
| 楽しかった。また来たいと思った。 |
| 楽しかった |
| すごくとてもたのしかったです。できたらまたきたい。とくにスライムがたのしかたです。 |
| 楽しかったのでまた来たいです。 |
| 来年もきたい |
| 実験をするのは、とても楽しかったです。 |

| |
|---|
| スライム作りはたのしかった。しゃぼんだまつくりもたのしかった。 |
| じっけんってたのしい。 |
| とてもたのしかったです。<br>せつめいもわかりやすかったです。<br>またきたいです。 |
| いろいろな実験を体験することができてとても楽しかったです。<br>また、参加したいです。 |
| 家庭であるものが使えるのにビックリしました。<br>アイスクリーム作り楽しかったです。 |
| たのしかったです!! |
| スタンプ作りで、うさぎを上手に作れました。とても楽しかったです。 |
| ワクワクしてたのしかった。 |
| またやってみたい |
| 家でもやれることがあって、興味深かったです。<br>またやってほしいです。 |
| しらないことがいっぱいあるとおもった。 |
| いつも楽しい科学教室をやってくださってありがとうございます。 |
| またきたいです。 |
| 花が、おせんべいのようになり、すごく楽しい。<br>ジュースなどに、えきたいちっそを入れたらどうなるのかな |
| またやりたいです。 |
| いろいろな実験ができて、たのしかったです。 |
| かんどうしました。ペンありがとう |
| たのしかったです |
| 色々な事が体験できて楽しかったです。 |
| きてよかった |
| 一中のダンゴムシのめいろが、おもしろかったです。 |
| 毎年、理科研の後の科学教室をとても楽しみにしてます。<br>お兄さんお姉さんもいつもや優しくてありがとうございます。 |
| 子供達が楽しんで科学知れました。<br>今後とも、子供達、これからの日本のため研究にがんばって、貢献してください。ありがとうございました。 |
| ためになりました。 |
| とても勉強になりました(７５才ばあさんです) |
| むずかしかったけどたのしかったです。 |
| 自分に合ったこう水を作ることができたので、よかたです。 |
| アイスがおいしかった。来年も開いてください!! |
| アイスがおいしかったです。 |
| すらいむがたのしかった |
| おもしろくて、たのしかったです。<br>またらいねんもきたいです。 |
| おもしろくてたのしくてまたらいねんきたいです。 |
| また作りたい。 |
| か学はすごいと思いました。来年も来たいです。 |
| 小学生にも分かりやすい、興味をもちやすい、内容が多く、楽しかったです。 |
| 子どもたちが喜ぶ、興味がもってる実験が多く、とても楽しめました。(子どもも、大人も)<br>是非、来年も参加したいと思います。 |
| たのしくて、たべられるものもあってよかった。 |
| 楽しかった。 |
| とってもおもしろかったです。 |

# 「おもしろ理科実験教室」
# アンケート集計結果

| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|
| 170 | 118 | 69% |

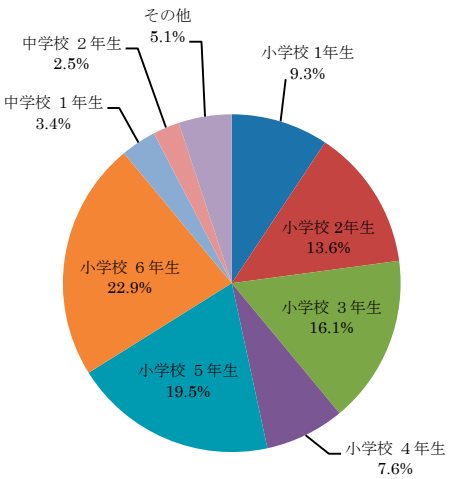
| 開催日時 |
|---|
| 平成２６年１０月２５日(土)１０：３０ ～ １２：３０ |

１．学年・性別

| | 小学校 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | １年生 | ２年生 | ３年生 | ４年生 | ５年生 | ６年生 |
| 男 | 4 | 4 | 4 | 6 | 1 | 7 |
| 女 | 7 | 12 | 14 | 3 | 18 | 19 |
| 無回答 | | | 1 | | 4 | 1 |
| 合計 | 11 名 | 16 名 | 19 名 | 9 名 | 23 名 | 27 名 |
| 構成比 | 9.3% | 13.6% | 16.1% | 7.6% | 19.5% | 22.9% |

| | 中学校 | | | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | １年生 | ２年生 | ３年生 | | |
| 男 | 1 | 1 | | 3 | 31 |
| 女 | 3 | 2 | | 3 | 81 |
| 無回答 | | | | | 6 |
| 合計 | 4 名 | 3 名 | 0 名 | 6 名 | 118 名 |
| 構成比 | 3.4% | 2.5% | 0.0% | 5.1% | 100.0% |

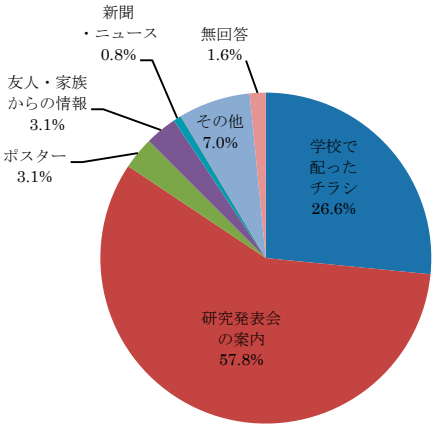
学年




２．「おもしろ理科実験教室」をどのようにして知りましたか。（複数回答）

| | 合計 | 構成比 |
|---|---|---|
| 学校で配ったチラシ | 34 名 | 26.6% |
| 研究発表会の案内 | 74 名 | 57.8% |
| ポスター | 4 名 | 3.1% |
| 友人・家族からの情報 | 4 名 | 3.1% |
| 新聞・ニュース | 1 名 | 0.8% |
| ホームページ | 0 名 | 0.0% |
| その他 | 9 名 | 7.0% |
| 無回答 | 2 名 | 1.6% |
| 合計 | 128 名 | 100.0% |

どのようにして知りましたか。




３．一番おもしろかった実験は何でしたか？（※原文のとおり）

| |
|---|
| スライム |
| スライム作り |
| スライム |
| スライム |
| アルカリ性と酸性と液体チッ素 |
| スライム |
| スライム |
| シャボン玉の中にはいるじっけん。 |
| ドライアイス |
| スライム |
| 花火の色を作る |

| |
|---|
| ドライアイスであそぼうでつくって、アイスをたべれてうれしかった。 |
| スライムづくり |
| ドライアイスとけいそう土 |
| アイスクリームづくり |
| スライムづくりです。 |
| スライムづくり |
| スライムづくり |
| はんこ |
| ドライアイスで牛乳アイスを作ったこと。 |
| ドライアイスで牛乳のアイスを作る実験。 |
| スライム作り |
| はんこ作り |
| ほうしゃせんのじっけん |
| スライム |
| しゃぼん玉の中に入ってみる実験。 |
| スライム |
| スライム作り |
| （スライム） |
| 液体ちっ素でボールを凍らして、バラバラになった実験 |
| スタンプ作り |
| スライム |
| スライム作り |
| 物（スチールウール）を燃やす実験 |
| スライム作り |
| スタンプ作り |
| スタンプ作り |
| スライム |
| スライムづくりがたのしかったです。 |
| スライムづくりがたのしかったです。 |
| スライムづくりがすこしむずかしかったけどたのしかった。 |
| スライムづくりがおもしろかった。 |
| スライムです。 |
| スタンプです。 |
| スタンプです。 |
| 色の変わる実けん しゃぼん |
| 花火の色をつくろう |
| スタンプづくり |
| スライム作り |
| スライム作り |
| でんき |
| ハンコ |
| スライム |
| ちっそのじっけん はながこおった |
| ちっそのじっけん ばなながかたかった |
| においの科学 |
| スライム |
| ドライアイスで遊ぼう |

| |
|---|
| ・スライム・においの科学 |
| スライム作り |
| スライム作り、アイス作り |
| スライム作り。アイス作り。 |
| スライム作り　アイス |
| スライム |
| スライム作り |
| スライム |
| LED の実験 |
| スライム |
| スライム作り |
| スライム作り |
| においの実けん |
| スライム作り |
| スライム |
| スライムをつくろう!! |
| スライム作り |
| スライムづくり |
| えきたいちっ素 |
| いちばん楽しかったのは、スライムです。 |
| すらいむ |
| PH 実験 |
| スライム |
| スライムをつくろう |
| スライムをつくったこと |
| スライム、しゃぼん玉、けいそう土 |
| けいそうど |
| 花火の色をつくろう |
| ドライアイス（食べてみた!）←さわった |
| ・スタンプ作り・花火の色 |
| ドライアイス |
| ドライアイス（さわってみた!）←さわってひりひりしてきた |
| 花火の色 |
| アイスクリーム |
| 二酸化炭素 6 年生のテストに出ることを教えてもらった。 |
| はんこ |
| しゃぼん玉の中に、入るじゃんけん えきたいちっそ |
| ドライアイスでアイスを作ったやつ |
| スライムをつくったこと |
| pH の実験 |

４．先生の説明はわかりやすかったですか?

| | |
|---|---|
| わかりやすい | 101 名 |
| ふつう | 14 名 |
| 無回答 | 3 名 |

合計　118 名

５．なんでも思ったことを書いてください。（※原文のとおり）

| |
|---|
| スライム作りのときに、かたまる水ですぐにかたまったところがすごかったです。 |
| もっと楽しい実験教室を開いてください。 |
| らいねんもじっけんをしたいです。 |
| 楽しかったです。<br>勉強になりました。 |
| 理科の勉強のさんこうになりました。 |
| おもしろかった! d(^q^) |
| ドライアイスでできたアイスクリームはふつうのアイスクリームよりもおいしかったです。 |
| 楽しかった。またやりたい。 |
| 楽しかったし、勉強になった。 |
| またきたいです。 |
| ドライアイスに牛乳と砂糖を混ぜてドライアイスを入れるとアイスになることがわかった。 |
| 楽しかったです<br>機会があればまた来たいです |
| 楽しかったです<br>またやりたいです。 |
| 楽しかった |
| 思いもしなかったものをつくっていたり、おもしろい実験もあって楽しめました。 |
| よく目にしていたドライアイスの秘密を、詳しく知ることができた。<br>今回学んだことをこれからの生活、将来に生かしていきたい。<br>貴重な体験をさせていただきありがとうございました! |
| ・また、スライムを作ってみたい。<br>・とっても楽しかった。 |
| ほうしゃせんのひとはわかりやすくておもしろかった。 |
| とても楽しかった。 |
| のりと水とまほうの水でできるのがたのしかった。 |
| 楽しかった。 |
| たのしかった |
| たのしかった。 |
| 楽しかったです。<br>私も先生のようにがんばりたいです。 |
| たくさん実験するところがあった。 |
| スライムをつくるのがとてもたのしかったです。 |
| ありがとうございました。 |
| スライムで作りたかったがたのしかった。 |
| 楽しかったです。べん強になりました。 |
| 楽しかったです。べん強になった。 |
| 若者がたくさんで楽しい<br>がんばれ |
| ちがうじっけんもやってみてください。まいとし同じなので… |
| もっとたのしい実けん教室を開いてください。 |
| 楽しくて、おもしろかった。 |
| ノリに水などを加えてやると、スライムがつくれることがびっくりした。 |
| たのしかったです。<br>ありがとうございました。 |
| たのしかったです。 |

| |
|---|
| おもしろかった<br>(^d^)<br>また、ちがうじっけんをやりたいです。 |
| ・アイスがおいしく作れた<br>・先生の説明がとてもわかりやすかった |
| やってみたかった事ができてよかったし、楽しかった。 |
| 来年もやりたいです。 |
| スライム作りがたのしかった! |
| 楽しかった。 |
| 楽しかったです。勉強になった。 |
| けいそう土→なんで固まるのかなーとおもしろかった<br>さんその中で燃える→光ってるなと思った<br>液体ちっ素→うわーっと思った<br>大学のお兄さん、お姉さんやさしくてよかった。難しいこともあったけど、また来たいです。 |
| 来年もスライム作りをしたいです。 |
| おもしろかった! |
| LED のところにいた井原先生のお話がおもしろかったです。 |
| ドライアイスをかきまぜたときに、にさんかたんそのあわがでてきてふしぎだった。 |
| もう少しちがうじっけんんがあればいい。 |
| スライムを自分で作って楽しかった。<br>おもしろかった。 |
| こうすいがじょうずにできました。 |
| スライムをつくろうのとき、やわらかくておもしろかった |
| いろいろな体験をして楽しかった |
| とても楽しかった。 |
| 毎回同じような実験が多い。もう少し、ちがうのを見たい。 |
| たのしかったです。 |
| おもしろかった。—♡♡♡ |
| メスシリンダーの中にドライアイスを入れたのがすごかった。 |
| 初めてだけども一回やりたいと思いました。 |
| スライムでまたつくりたいです。 |
| しらないことがいっぱいしれました。 |
| けいそう土やスライム、しゃぼんだまがたのしかったです。けいそう土は、こなをまいてかたまるのが、ふしぎに思いました。スライムは、ネトネトしていておもしろかったです。しゃぼんだまははじめて中にはいったのでうれしかったです。 |
| 来年もまたきたいです。 |
| ドライアイスのは去年なかったから楽しかった。スライムは今年もやってみて、さわってみたのに、手につかなかった! |
| 花火の色は、バリウムとかで、色が変わることが、びっくりした。 |
| 楽しかったです。 |
| ドライアイスは、去年はやらなかったけれどやったら楽しかった!!またやりたいな |
| 花火の色のでかたが分かったから不思議が1 つとけたのでよかった。 |
| 理科大好きです。理科好きの子供達がもっともっと増えてくれるといいです。もっと広く知ってもらい、多くの人が参加して理科に興味を持ってくれたらいいです。 |
| 子ども達も楽しみにしていました。学生さんにとっても教えるという良い機会ではないでしょうか。生きいきしていて良かったです。 |
| 楽しかったのでまた来たいです |
| アイスがとってもおいしかった。 |
| 楽しい |
| たのしくできてよかった。 |

| |
|---|
| ドライアイスは、楽しかったし、おいしかったです。 |
| スライムがプニプニしておもしろかった。 |
| 大学のお兄さん、お姉さんがとてもやさしくしてくれて、うれしかったです。とても楽しかったです。 |
| スライムで使う、ほうしゃ水で固まるのは、すごいと思う。 |
| スタンプの液がとけやすくてやりにくかった。 |
| 楽しかった。 |
| とっても楽しかったので、またやってほしいです。<br>ありがとうございました。 |
| どれもすごいふしぎでおもしろくてすごい楽しかったです。来年も来てじっけんをしたいです。 |
| 2 番目に楽しかったのはしゃぼん玉<br>3 番目に楽しかったのは液体ちっ素<br>4 番目に楽しかったのは花火<br>5 番目に楽しかったのはけいそう土<br>6 番目に楽しかったのはかおり<br>7 位アイス |
| 来年の実験も今年よりふやしてほしい |
| いろいろなじっけんがあってすごいなぁとおもいました。 |
| たのしかったです。 |
| また来年もあったらやってみたいです。 |
| pH の実験の説明が分かりやすく、勉強になった。 |

# 分校活動状況一覧

| 月 | 日 | 活動内容 | 参加人数 | 担当教員・参加学生 | 主催等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 26 日(土)<br>27 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>棚田復元 | | 秋田大学生 22 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 5 月 | 17 日(土)<br>18 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>棚田復元・田起こし | | 秋田大学生 24 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 5 月 | 24 日(土)<br>25 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>代掻き | | 秋田大学生 38 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 5 月 | 31 日(土) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>田植え | | 秋田大学生 16 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 6 月 | 1 日(日) | みんなで秋田内陸線を応援しよう<br>田んぼアートの田植え | 320 | 秋田大学生 16 名 | 主催：秋田県北秋田地域振興局<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 6 月 | 7 日(土) | 釈迦内サンフラワープロジェクト　種まき | 100 | 秋田大学生 10 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 6 月 | 21 日(土) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>草取り | | 秋田大学生 18 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 6 月 | 22 日(土) | 森吉四季美湖まつり | | 秋田大学生 18 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：森吉山ダム水源地域ビジョン実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 7 月 | 5 日(土)<br>6 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>草取り | | 秋田大学生 64 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 7 月 | 10 日(木) | 北秋田市立阿仁合小学校講演 | | 秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | |
| 8 月 | 16 日(日) | 「阿仁の花火大会と灯籠流し」アトラクション | | 秋田大学よさこいサークル「よさとせ歌舞輝」23 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：阿仁の花火実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 8 月 | 17 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>草取り | | 秋田大学生 23 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 8 月 | 24 日(日) | 釈迦内サンフラワープロジェクト　ひまわりの種収穫 | | 秋田大学生 13 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 9 月 | 18 日(木)<br>19 日(金) | 教育心理学　実習型授業 | | 秋田大学教育文化学部<br>教授　髙田　知惠子<br>教授　森　和彦<br>准教授　中野　良樹<br>准教授　清水　貴裕 | 主催：秋田大学教育文化学部 |
| 9 月 | 21 日(日) | ワクワク子ども科学教室 | 500 | 秋田大学大学院工学資源学研究科<br>准教授　加藤　純雄<br>講師　小笠原　正剛<br>秋田大学生 24 名 | 共催：秋田大学北秋田分校<br>大館北秋田理科教育研究会 |
| 9 月 | 27 日(土)<br>28 日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>はさ作り・稲刈り・はさ掛け | | 秋田大学生 14 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 10 月 | 11 日(土) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>脱穀・収穫祭（きりたんぽ会） | | 秋田大学生 13 名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 10月 | 12日(日) | 釈迦内サンフラワープロジェクト　ひまわり油等の販売 | | 秋田大学生13名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 10月 | 25日(土) | おもしろ理科実験教室 | 360 | 秋田大学大学院工学資源学研究科<br>准教授　加藤　純雄<br>講師　小笠原　正剛<br>秋田大学生22名 | 共催：秋田大学北秋田分校<br>北秋田市教育委員会 |
| 11月 | 1日(土) | 釈迦内サンフラワープロジェクト　活動発表・収穫感謝祭 | | 秋田大学生18名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会<br>協力：秋田大学北秋田分校 |
| 11月 | 2日(日) | ふるさとの風景に学ぶ<br>―米づくりで紡ぐ心と自然<br>田んぼ補修 | | 秋田大学生18名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 協働事業：秋田大学北秋田分校<br>秋田森のテラス |
| 11月 | 15日(土) | 秋田内陸線スタディトレイン<br>教員免許状更新講習講座開講 | 29 | 秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：秋田大学 |
| 2月 | 21日(土) | スノーキャンドルストリート<br>in あに | | 秋田大学生20名<br>秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：スノーキャンドルストリート実行委員会<br>阿仁合駅周辺活性化実行委員会<br>後援：秋田大学北秋田分校 |
| 2月 | 22日(日) | 秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会参画 | | 秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：秋田内陸地域公共交通連絡協議会 |
| 3月 | 29日(日) | 秋田内陸線夢列車プロジェクト<br>夢列車創造会議 | | 秋田大学北秋田分校長　濱田　純 | 主催：秋田内陸線夢列車プロジェクト実行委員会 |

# 分校に関する新聞記事

| No. | 掲載日 | 新聞名 | 記事の見出し |
|---|---|---|---|
| 1 | H26.6.1 | おおだて新報 | 県北秋田振興局　田んぼに「笠地蔵」描く<br>内陸線沿線にアート作品　320 人、古代米を手植え |
| 2 | H26.6.1 | 秋田魁新報 | 内陸線「田んぼアート」歓声上げ児童ら手植え<br>北秋田市　今年は昔話テーマ |
| 3 | H26.6.1 | 秋北新聞 | 内陸線沿線で田植え　北秋田地域振興局　誘客狙い笠地蔵など描く |
| 4 | H26.6.3 | おおだて新報 | 桂瀬　古代米など手植え　秋田大北秋田分校　秋まで無農薬で栽培 |
| 5 | H26.6.11 | 秋北新聞 | 「四季美湖まつり」多彩に　ウォーキング、カヌー、探検隊、ライブ･･･<br>森吉山 22 日　うまいもの物販 12 店舗 |
| 6 | H26.6.12 | 秋田魁新報 | 満開のヒマワリ楽しみ　大館市　児童ら 100 人が種まき |
| 7 | H26.6.12 | おおだて新報 | 大館市松木　種まいて爽やかな汗<br>サンフラワープロジェクト　大学生や一般も大勢集まる |
| 8 | H26.6.21 | 秋北新聞 | 四季美湖まつり多彩に<br>森吉山 22 日　ウォーキング、カヌー |
| 9 | H26.6.23 | 秋北新聞 | 森吉山麓の自然満喫　四季美湖まつり　歩く会、カヌーなど多彩に |
| 10 | H26.6.23 | おおだて新報 | 北秋田市　四季美湖で遊び満喫<br>カヌーやウォーク　細越うどんは大人気 |
| 11 | H26.7.3 | おおだて新報 | 5 日ホタル鑑賞会　北秋田市桂瀬森のテラスで |
| 12 | H26.7.3 | おおだて新報 | 3 年目　田んぼアート見ごろに　内陸線沿線　車内でプレゼント、徐行も |
| 13 | H26.7.13 | 秋北新聞 | 「勉強も遊びも大切」阿仁合小　濱田秋大分校長が講演 |
| 14 | H26.8.10 | 秋北新聞 | 阿仁の花火と灯籠流し<br>夏の陣 16 日　児童・生徒の演舞も披露 |
| 15 | H26.8.18 | おおだて新報 | 鎮魂の灯籠　川面滑る　北秋田市阿仁　花火も夏空に大輪 |
| 16 | H26.8.18 | 秋北新聞 | 大輪、大音響に酔う 大勢の観客　阿仁の花火と灯籠流し |
| 17 | H26.8.18 | おおだて新報 | ヒマワリの黄色鮮やか　大館市の釈迦内地区　あちこちで見ごろに |
| 18 | H26.8.25 | おおだて新報 | ヒマワリの花を“収穫”釈迦内小全校児童　搾油しイベントなどで販売へ |
| 19 | H26.9.12 | 秋北新聞 | 利用促進に向け意見交換会　秋田内陸線 16 日から地域懇談会 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 20 | H26.9.22 | おおだて新報 | 大館市　親子で実験楽しむ　秋田大分校など主催　子ども科学教室開く |
| 21 | H26.9.22 | 北鹿新聞 | シャボン玉の中「不思議」　秋大など　大館で子ども科学教室 |
| 22 | H26.9.23 | おおだて新報 | 共栄大の２人が実習　北秋田市阿仁合小で　教諭への夢　真っすぐに |
| 23 | H26.9.25 | 秋田魁新報 | 大館　秋大北秋田分校「科学教室」<br>不思議体験続々　児童、実験楽しむ |
| 24 | H26.12.27 | 北鹿新聞 | 秋田内陸線　存続に理解と支援を<br>支援団体連合　新たな取り組み実践も |
| 25 | H27.1.6 | 秋北新聞 | 存続への理解深める　内陸線支援団体連合会　能登県議会議長と面談 |
| 26 | H27.2.23 | 秋田魁新報 | スノーキャンドルストリート　温かな光、街彩る |
| 27 | H27.2.23 | 北鹿新聞 | 6千本のキャンドル　北秋田市阿仁地区　冬の街を温かに彩る |
| 28 | H27.2.24 | おおだて新報 | スノーキャンドルストリート　柔らかな光　幻想的に<br>北秋田市阿仁　冬花火の打ち上げも |
| 29 | H27.3.30 | 北鹿新聞 | 内陸線　「夢列車」にアイデア　募金プロジェクト　市民の力で更新へ |

**秋田大学北秋田分校**

〒018-3392
秋田県北秋田市花園町19番1号
北秋田市役所総務部総務課内
TEL 0186-62-1111 FAX 0186-63-2586
E-mail soumu@city.kitaakita.akita.jp



編集・発行　秋田大学北秋田分校
秋田大学地域創生センター

平成27年12月